

九州 IR の実現に向けて



昨年12月20日、九州IR推進協議会主催の「九州IRの実現に向けて」をテーマとした九州IRシンポジウムが、福岡市で開催されました。

この九州IR推進協議会(KIRC)は、九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、九州商工会連合会、九州観光推進機構、九州地方知事会、九州各県議会議長会、長崎県、長崎県市長会、長崎県町村会、佐世保商工会議所、佐世保市など、九州・長崎県の政財界を網羅する団体で構成され、九州IRの実現を目指して活動しています。

これまで1つの事業・プロジェクトを「オール九州」「チーム九州」で取り組むことはまれであり、画期的なことだと言われています。これも「九州IR」が九州全体に与える経済波及効果や多様な雇用・交流人口の増加など、期待の大きさを示していることに他ならないと思います。

この九州一体となった協力・支援体制を立地自治体である長崎県と佐世保市はしっかりと受け止めて、本年4月28日が期限の「特定複合観光施設区域整備計画認定申請」に、設置運営事業予定者の「CASINOS AUSTRIA INTERNATIONAL JAPAN」と共に取り組んでいかねばなりません。

市民の皆さまの中には、「ギャンブル等依存症対策」「治安対策」「青少年対策」「交通渋滞対策」などへの懸念もあろうかと思いますが、国としても、先進国・地域の事例を踏

まえ、他国に類のない厳しい法律を作り、公安委員会と同等以上の権限を持つカジノ管理委員会を設置し取り組まれています。また、長崎県、佐世保市、そして設置運営事業予定者としても、道路などのハード整備はもちろん、安全対策などソフト面からの整備にも万全を尽くして、令和9年中の開業に備えてまいります。

「九州IRシンポジウム」では、パネルディスカッションのパネラーとして登壇された九州IR推進協議会前会長・九州経済連合会前会長の麻生泰氏が「九州IRは九州発展の起爆剤となり得ると確信している。もし、このチャンスを逃すようなことになったら、後世の人から『2020年代の九州の先人たちは何をしていたんだろう』と言われかねない。私たちは世界に取り残されないように、今、行動を起こさなければならない」と話されました。

また、ハウステンボスの創業者である故 神近義邦氏は、「ハウステンボスは『千年の街』づくり」と開業時に述べられました。ハウステンボスは、ことし創業30周年を迎えられ、千年の街づくりはまだ始まったばかりです。九州IRが実現すれば、世界基準のリゾート千年の街が本格的に動き出します。

市民の皆さま、佐世保の未来のために、私たちの子孫のために、市民一体となって実現に力を合わせようではありませんか。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 118

聞いて「徳」する話 79 気持ちは、言葉で伝えよう

私は交通安全運動期間中、通学路で登下校の児童に対する交通安全・防犯・あいさつなどの見守り活動を行っています。昨年10月中旬ごろ、通学路の落ち葉掃きや草刈りをしていると、下校中の小学2年生の男の子が近づいてきて、「お掃除ご苦労さまです」と声を掛けてくれました。

それに対して、私が「ありがとう。車に気を付けて帰りなさいよ」と言うと、「分かりました」と元気よく返事が返ってきました。その子の家庭でしっかり徳育がなされていると思うと、うれしくなりました。

近頃、大人でもあいさつを返してくれない方が時々いらっしゃることや寂しい気持ちになることがあります。私自身思い返しますと、「ご苦労さん、大変ですね」「大丈夫ですか」と相手に声を掛ければ良かったと、反省とともに

思い返すことが多々あります。

小学生から掛けられた言葉が身に染みて心が温まったことを思うと、今からでも人への感謝やねぎらいの気持ちを言葉にして伝えたいと思います。

(岩元 一英)

「聞いて徳する話」募集中
身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。
◎佐世保徳育推進会議 ☎23-2856

シリーズ 英語が話せる街 21

SASEBO de ENGLISH

市内の名物や名所を題材に、普段の生活の中で使える簡単な日常英会話をお知らせします。今回は「三川内焼 絵付け体験」を題材にした会話です。



Emily It's beautiful.
(きれいだね～)

Nahoko Do you want to paint it?
(絵付けしてみる?)

Emily I wonder if I can do that.
(私にできるかしら)

Nahoko Let's try!
(挑戦してみようよ!)

Emily I'm looking forward to the completion.
(出来上がりが楽しみ!)



広報テレビ番組「キラっ都させば」放送スケジュール

第1土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50
第2土曜 NCC 16:25～16:30 第2日曜 NIB 6:30～6:35
第3土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50
第4土曜 NCC 16:25～16:30 第4日曜 NIB 6:30～6:35
毎週日曜 TVS 18:55～19:00

※上記内容を1カ月先行して放送しています。

※「キラっ都させば」と文字情報の「させば市政だより」は週替わりで放送しています。

※YouTube版はこちらからどうぞ。



シリーズ 西九州食財 18

長崎ハーブ鯖



「長崎ハーブ鯖」は、全国でも佐世保・松浦地域だけで養殖されているブランドサバです。佐世保地域においては小佐々地域で養殖されています。

長崎ハーブ鯖の一番の特長は、その名の通りハーブを餌に使用しているところです。西洋ハーブのオレガノ、シナモン、ジンジャー、ナツメグの4種類を最適な配合で練り込んだ餌を食べて育ったサバは、サバ独特の臭みが軽減されるとともに鮮度の維持が可能となり、安心して1年中おいしく食べることができます。刺身にして食べるとその違いがはっきり分かります。また、海水温が下がる冬は脂がのっておいしくなるので、しゃぶしゃぶにして食べるのもおすすめです。

サバは皮が薄いため「ぬめり」でコーティングされており、ぬめりが剥がれると傷みやすい魚です。より良い品質のものを届けたいという思いから、長崎ハーブ鯖を出荷する際は、沖合の本いけすから出荷いけすへ海中を移動させ、網で触れるのは出荷いけすから仕分け作業へ移す際の一度だけにするようにされています。

長崎ハーブ鯖を生産している「長崎さば生産グループ」は、長年にわたりサバの養殖に取り組み、サバ養殖技術を確認するとともに、長崎ハーブ鯖のブランド力向上を図るなど、水産業の振興に貢献したことが評価され「令和3年長崎県民表彰」を授与されており、今後のさらなるブランドの向上に励まれています。

◎水産課 ☎24-1111

人の動き(1月1日現在)

- 総人口 239,971人(前月比-242人)
男性 113,848人(-135人)、女性 126,123人(-107人)
- 世帯数 104,477世帯(前月比-112世帯)
- 12月中の動き
転入 431人、転出 520人、出生 132人、死亡 285人